

## 平成30年度熊本電子ビジネス専門学校 学校関係者評価結果

## 1 学校の教育目標

本校の三綱領である「進取」「明朗」「誠実」を教育理念の根幹におき、理事長、校長を中心とした指導体制のもと、スローガンに、時代を生き抜く「高い専門性」と「豊かな人間力」の育成を掲げ、全教職員が一丸となって、日々の一つひとつの教育活動を着実に実践し、常に先を見通す論理性や人間の機微がわかる感性を養い、総合的に富む真の意味で社会に貢献できる人材を育成する。

## 2 学校関係者評価委員会

- (1) 開催日 令和元年8月7日(水)
- (2) 時間 午後1:30～午後3:00
- (3) 場所 熊本電子ビジネス専門学校 A303教室
- (4) 出席者 評価委員 8名、学校側9名

## (1) 教育理念・目標

学校関係者意見等	○各学科の目標・取り組みについてはどの様に定めているのか。
今後の改善等	○毎年度、各学科ごとに現状と課題の洗い出しと今後の具体的な取り組みの指針を作成し運営に取り組んでいる。

## (2) 学校運営

学校関係者意見等	○昨年度の運営状況等の取り組みを伺うと職員の業務量が増加していると考えられるがどのように対応しているのか。
今後の改善等	○学校を取り巻く環境の変化により、業務量は増えている。今後、職員の適正配置や、マニュアル化を進め業務の効率化を進めたい。

## (3) 教育活動

学校関係者意見等	○学科を問わず情報セキュリティに関する意識を高める教育をお願いしたい。
今後の改善等	○情報セキュリティを含め、情報モラルに関する意識を高める教育もあわせて取り組んで行きたい。

#### (4) 学修成果

学校関係者意見等	○退学者数並びに退学の理由の状況はどの様になっているのか。
今後の改善等	○退学率については、ここ数年4%前後で推移している。退学の理由は様々であるが、安易な理由で退学に至らぬよう日頃よりの学生とのコミュニケーションを大切にしている。

#### (5) 学生支援

学校関係者意見等	○就職をはじめとする学生への各種支援体制については、配慮がなされ効果も上がっている。
今後の改善等	○今後は公的な機関等とも連携を図り多様なニーズに応えられる体制を構築したい。

#### (6) 教育環境

学校関係者意見等	○検討されたいネットワーク環境の整備はどの様な状況か。
今後の改善等	○全教室に有線と無線でネットワーク環境を整備した。学校へ登録すれば学生は自由に使用できる環境である。

#### (7) 学生の受入れ募集

学校関係者意見等	○学校の特待生制度枠を拡充することはできないか。
今後の改善等	○制度枠の拡充を含め、出願資格の基準を引き下げる等、今後の検討事項としたい。

#### (8) 財務

学校関係者意見等	○財政基盤の状況については。
今後の改善等	○財務状況については、評議委員会等にて適切な説明を行っている。また、本校のホームページ上にも情報を公開しているところである。今後とも、学生にとって重要な意義を持つ公共性の高い学校法人であることを認識し、意思決定、適切な予算執行等の説明責任が果たせるように取り組んでいきたい。

#### (9) 法令等の遵守

学校関係者意見等	○個人情報等の機密情報の取り扱いについては十分注意しなければならない。
今後の改善等	○個人情報の流出については、社会問題にもなっている。その原因のほとんどが管理ミス、紛失等のヒューマンエラーである。そのことを踏まえ、教職員の意識高揚を含め、組織全体で取り組むべき問題だと認識している。